

AYA 世代がん患者の長期フォローアップ体制の構築に関する研究（分担研究課題名）

研究分担者 前田美穂

日本歯科大学生命歯学部小児歯科学講座 客員教授

研究要旨：AYA 世代発症がん患者の長期フォローアップ体制構築のために、本研究の1年目である本年は AYA 世代がん患者の長期フォローアップ体制構築に関する意識とニーズの調査および以前行われた成人した小児がん経験者の長期フォローアップにおける小児科と成人診療科の診療連携に関する研究\*をもとに、成人診療科医師および患者・経験者の AYA 世代がん患者の長期フォローアップ体制構築に対するニーズをまとめた。

#### A. 研究目的

AYA世代がん患者の長期フォローアップ体制構築に関する意識とニーズの調査および以前行われた成人した小児がん経験者の長期フォローアップにおける小児科と成人診療科の診療連携に関する研究\*をもとに、成人診療科医師および患者・経験者のAYA世代がん患者の長期フォローアップ体制構築に対するニーズのをまとめる。また、AYA世代発症のがん患者の長期フォローアップ関係の調査が国内でどの程度行われているかを調査する。

#### B. 研究方法

AYA世代がん患者の長期フォローアップ体制構築に関する意識とニーズの調査をもとに重要課題の抽出を行った。

（倫理面への配慮）

本年度の研究ではとくに倫理面の配慮は必要ないと考えられた。

#### C. 研究結果

医療者のニーズとして下記のような項目を抽出した。

1. AYAがの診療に関するガイドラインや手引き書の作製
  2. 医療者向けの相談窓口の設置
  3. 院内または地域における教育講演・セミナーの実施
  4. 院内コーディネーターの養成
- 患者・経験者のニーズとして、1. 相談窓口の設置
2. 治療サマリーや長期フォローアップ手帳の作成などがあがった。また、調査の結果以下が判明した。

現在行われている小児がん経験者の長期フォローアップ調査の中にAYA発症がんの経験

者の回答があるが、まだまとまってはいない。  
・平成27年度から29年度厚労科研・掘部班での調査の中に多少関連したものがある。

#### D. 考察

本年度の研究では、AYA世代発症がん患者について、医療者のニーズ、患者、経験者のニーズの概要がわかった。医療者のニーズとしては、長期フォローアップに関わるがん拠点病院だけでなく、日本全体の一般病院や診療所など一般医師のニーズを明らかにする必要があると考える。これを基に平成31年度、平成32年度にそれらのニーズに対する成果物の作成を行うために平成31年度はそのための調査も行う予定である。

#### E. 結論

本年度の研究では、AYA世代発症がん患者について、医療者のニーズ、患者、経験者のニーズの調査の解析を行い、これを基に平成31年度、平成32年度にそれらのニーズに対する成果物の作成を行う。

#### F. 健康危険情報

#### G. 研究発表

1. 論文発表 別紙4

#### H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得 なし
2. 実用新案登録 なし
3. その他 なし